



せんてい枝を堆肥にして農地で利用

まさきのバイオマス



農地で利用 ← 堆肥化 ← 回収

町では、せんてい枝や草は可燃ごみとして焼却していません。資源ごみとして分別収集し、北川原にある「有有限会社あぐり」で堆肥に変換し、町内の農地で利用しています。

平成30年度のせんてい枝の収集量は、777トンを、そこから664トンの堆肥に変換することができました。

松前校区は第2・4金曜日、北伊予・岡田校区は第2・4水曜日が、せんてい枝の回収日です。下記にせんてい枝の出し方を載せていますので、この機会に日ごろの出し方を見直し、資源化に努めましょう。

分別方法



- ・ 枝打ち処理した直径10センチ未満、長さ1メートルまでのもの
- ・ 枝打ち処理したときの葉
- ・ 枯葉、雑草
- ※ 柱や板など加工したもの、直径10センチ以上のものは可燃ごみ(指定袋に入らなければ粗大ごみ)。
- ※ たけのこの皮、ソラマメの莖やさや、さつまいものつるなどは可燃ごみ。

出し方



- ・ 枝打ち処理済のせんてい枝は、1人で持ち運びができる程度の重さにしてひもで縛って出してください。
- ・ 枝打ち処理した時の葉、枯葉や雑草は、土をよく払い落として、透明か半透明の袋に入れて出してください。

ひまわり



中川原地区の皆さんが栽培。子どもから大人まで協力。

町の花「ひまわり」を育てます。育てるのは、町ではなく、町民の皆さん。たくさんの方に協力してもらい、地域ぐるみで育てていきます。



花を見て楽しんだ後、刈り取り。



保育所の給食や文化祭で油を活用する。



種を搾油し、ひまわり油をつくる。

町の花である「ひまわり」の種から搾油したひまわり油と、家庭の使用済み燃料油を活用してバイオディーゼル燃料を精製し、公用車や町内を走るひまわりバスに利用しています。

30年度にひまわりの種から搾油した油は109リットルでした。また、回収BOXの回収量は4776リットルで、前年度に比べ629リットル増加していました。エコな運行のため、今後もより多くの皆さんの協力をお待ちしています。

ひまわりと食用油から車の燃料を生み出す

まさきのバイオマス

食用油



調理で油を使った後は、その油を回収BOXへ持って行きます。



回収BOX (執務・営業時間内)

役場、東・西・北公民館、まさき村(エミフルMASAKI内)、ダイキEX松前店

使用済み油をバイオディーゼル燃料に精製し、公用車やひまわりバスなどに活用。

年間で二酸化炭素 1,745kgの削減効果 (30年度)

